

さくらの花だより

豊中市教育委員会
学校教育課計画係
令和4年(2022年)5月
NO. 3

子どもたちの応援団として ～PTAさくら会議がスタート～

1年後に開校する義務教育学校「庄内さくら学園」において、「PTA活動をどのようにすすめていくのか」をテーマに話し合っていく「PTAさくら会議」がスタートしました。4月22日(金)には、島田小、庄内小、野田小、庄内さくら学園中3小1中のPTA会長及び校長・副校長が、庄内さくら学園中学校に集まり、より良い学校づくりに向けたPTA活動のあり方を話し合っていました。

庄内さくら学園が、子どもたちの笑顔があふれるような学校となってほしいとの思いをもって、PTA活動をすすめていければいいのではないかと。あくまでも子どもたちが主役なのだから、私たち保護者は、「子どもたちの応援団」として動いていけるようなPTA活動を組織していくのが望ましい。他市の義務教育学校の事例も参考にしながら、役員体制や委員会活動のあり方等を含めて「PTA会則」についての話し合いが始まっています。



庄内さくら学園のPTA活動に望むことをそれぞれの会長からのメッセージです。

島田小の中尾会長からは ⇒ 私は5年間 PTA に携わらせていただき、その中で時代と共に変わっていない団体。子どもに目が向いていない団体になっていると感じました。庄内さくら学園開校に向けて、その部分を一新し、不要だと感じる団体への加盟や行事を見直したいです。共働きの増え、自由な時間が少ない子育て世代が、子どもとの時間を一番大事にできるように、『親子で一緒にできる PTA』をめざしたいと思います。

庄内小の國見会長からは ⇒ PTA 役員として5年を迎え、私が庄内さくら学園 PTA に望むことは、地域と必要な連携は保ちつつ、余分な業務や参加を省くことで、役員や保護者が無理なく活動できる『子ども達のためだけ』の存在になってほしいということ。また、学校の補助団体としてだけでなく、1～9年すべてが真に楽しんでくれるイベント等を開催し、「PTA めっちゃいいやん！」と子どもや保護者が思ってくれる、楽しい1チームでありたい。

野田小の瀧川会長からは ⇒ 子どもたちの一番の応援団としてPTAという組織が貢献できればと思っています。PTAは学校と子どもたちのパイプ役でもあり、学校と地域とのパイプ役を担う存在でもありたいと思っています。より良い学校環境と安心安全の地域構築をめざして、保護者・学校・地域の三者が手を取り合い、子どもたちのために共に成長し共に育んでいける、【共育】を合言葉に楽しく取り組んでいける新しいPTAが明年開校の庄内さくら学園に誕生できればと思っています。

庄内さくら学園中の三間会長からは ⇒ 「楽しすぎる PTA」が、僕の理想の PTA です。PTA にかかわり7年、これだけは大切に考えてきました。主役は、親でも先生でもなく子どもです。PTA 活動とは、自分の子どもの生活環境をよくすることと子どもを応援、見守ることをみんなで助け合うことだと思います。僕は、自分と同じ気持ちを持つ方たちがいることでとても心強く、そういう中での PTA 活動はとても楽しく感じます。皆さんが楽しく PTA にかかわれるように、しっかり協力させていただきます。